



かかやく子ども

～自立と共生の礎を培い、今と未来を豊かで創造的に生きる子どもを育てる学校～

新年、明けましておめでとうございます。

皆様方におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。旧年中は、本校教育推進に格別のご理解とご協力をいただき、ありがとうございました。本年も、よろしくお願い申し上げます。

さて、公立小・中学校の「学期」は法令上、その学校を管轄する市町村が決めるのが原則であり、草津市立の小・中学校では、「3学期」制をとっています。言い換えれば、他の市立・町立等の小学校では2学期制があったり、3学期制であっても始業式や終業式の日が違ったりする場合があります。草津市立の小・中学校の「3学期」は、1年間の中で最終の学期であり、また登校日数が一番短い学期でもあります。その点から、本校では「3学期」を「短い期間の中で、次の年度を見据えながら1年間のまとめとなる学期」になるよう教育計画をたてています。とりわけ6年生においては、小学校6年間の最終のまとめとなる学期です。「卒業」を言葉にした学習や活動が多くなってきます。

《3学期に大切にすること》

- ◎学習面においては、1・2学期に培った「学習のルール」・「学び方」を土台としながら、新たな学びや1年間の学習の振り返りをします。
- ◎生活面においては、1・2学期に身につけた「学校生活のルール」を守ることはもちろんのこと、「友だち」を意識した学級集団・学年集団のよさを再確認します。
- ◎「6年生を送る会」や「卒業式」・「修了式」等にむかう過程を大切にしながら、「進級」あるいは「卒業・進学」が意識できるようにします。

子どもたちとともに新年の抱負を話しながら、日々の教育活動を一步一步進めていきたいと考えています。保護者ならびに地域の皆様方に何かとご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、これまでと同様に、ご支援とご協力をいただきますようよろしくお願い申し上げます。

【1月18日】4・5・6年生『漢字検定』…本校学力向上策の一つ

草津市立の各小学校の4・5・6年生は、(公益財団法人)日本漢字能力検定協会の『漢字検定』を受検する予定です。級により、受検時間の長さが違ったり、検定料が違ったりしますが、子どもたちが自分の受ける級に目標をもって臨むこととなります。国語科の時間だけでなく、朝自習の時間や自主学習で漢字の習得に力を注いできた子どもたちが、漢字検定の日に実力が出せるように励ましていきます。この『漢字検定』の経験を、子どもたちの近い将来の姿を見据え、進路の決定や資格の習得などと重ねながら取り組ませたいと考えています。

| 級 | 10 | 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 |
|------|---|------|------|------|------|------|------|------|
| 各級程度 | 小1修了 | 小2修了 | 小3修了 | 小4修了 | 小5修了 | 小6修了 | 中学在籍 | 中学卒業 |
| 検定料 | (ア) 学校が準会場になるため、漢検協会が検定料の引き下げ規定がある。 (イ) 草津市が、受検料に補助金を出す。 (ウ) 受検する児童の保護者が、検定料の一部を負担する。 | | | | | | | |

修学旅行を通して平和学習を深めました。

6年生は、11月27日(火)～28日(水)の日程で、広島方面へ修学旅行に行きました。平和と人権の尊さを訴える世界遺産「原爆ドーム」と、海の上にあるユネスコ世界文化遺産「厳島神社」を見学場所の中心にして、特に平和学習を深めることができました。

修学旅行の中の平和学習は、次の4つを行いました。

- ①「原爆の子の像」の前で、6年生が各学級でつくった「千羽の鶴」を献鶴するセレモニーをする。セレモニーでは、「ふるさと」を歌い、誓いの言葉を発表する。
- ②12グループにわかれて、広島平和記念公園内をボランティアガイドさんに案内していただき、お話を聞く。【約1時間30分】
- ③広島平和記念資料館(原爆資料館)の展示物等を、見学する。
- ④被爆体験をされた方より、お話を聞く。【約1時間】

各学級で鶴をおり、「原爆の子の像」の前で「献鶴(けんかく)」した意味



平和記念公園内ではいたる所で、色鮮やかな折り鶴が見受けられます。折り鶴は日本の伝統的な文化である折り紙の一つですが、今日では平和のシンボルと考えられ、多くの国々で平和を願って折られています。このように折り鶴が平和と結びつけて考えられるようになったのは、被爆から10年後に白血病で亡くなった少女、佐々木禎子さんが大きくかかわっています。佐々木禎子さん(当時12歳)は、2歳のときに被爆しましたが外傷もなく、その後元気に成長しました。しかし、9年後の小学校6年生の秋(昭和29年・1954年)に突然、病のきざしが現れ、翌年2月に白血病と診断され広島赤十字病院に入院しました。回復を願って包み紙などで鶴を折り続けましたが、8か月の闘病生活の後、昭和30年(1955年)10月25日に亡くなりました。禎子さんの死をきっかけに、原爆で亡くなった子どもたちの霊を慰め平和を築くための像をつくろうという運動が始まり、全国からの募金で平和記念公園内に「原爆の子の像」が完成しました。その後この話は世界に広がり、今も「原爆の子の像」には日本国内をはじめ世界各国から折り鶴が捧げられ、その数は年間約1千万羽、重さにして約10トンにもものぼります。【広島市ホームページ引用】

| | | | |
|---|--|---|---|
|  |  |  |  |
| せんばつる 千羽鶴 | けんかく 献鶴セレモニー | せつまい ボランティアガイドさんの説明 | ひばくしゅ 被爆者である語り部さん |
|  |  |  | |
| ゆうしょく 夕食 | いつくしまじんじゃ 厳島神社 | みやじま 宮島での買い物 | |

本校児童と、保護者ならびに地域の皆様方にとって、今年が素晴らしい1年になりますようお祈り申し上げます。今年も、どうぞよろしくお願ひします。・・・老上西小学校職員一同・・・